

BSC がもたらす心理的効果

経営学部 経営学科 志村ゼミ
B4R11112 高橋健太

【卒業論文概要】

これまで経営学部において財務会計や管理会計など会計から経営戦略論や経営組織論など様々な経営に纏わる理論などを学んだ中でテキストや本にもなっているのに日本ではあまり取りざたされていない現状があることから印象に残っている BSC (バランス・スコアカード) をテーマにしようと考えた。また、ゼミナールⅡにおいてご教授頂いている志村正教授から心理的効果との関係を調べてみてはとのアドバイスを頂き、筆者自身どのような効果をもたらしているのかに関心を持っていたため今回のレポートで考察することにした。

本論文の目的は BSC が導入されるにあたって企業、並びに従業員に対してどのような心理効果をもたらすのかを考察するものである。

先行研究としてある人間の心理状態や職場で働く従業員のモチベーション理論などの書籍や論文などを基に BSC の要素のうち何がどのように、誰に心理的効果を与えるのか、BSC はどのような心理的効果をもたらすのかを考察する。

BSC には「ビジョンと戦略」や「戦略マップ」、「スコアカード」、「戦略マネジメントサイクル」など様々な要素が含まれているが主として得られる心理的効果としてはモチベーションの向上であった。それに付随してコミュニケーションの円滑化や企業の目的や戦略などが明確になることが判明した。このことから BSC を導入するにあたって企業の戦略や経営状態の見直しだけでなく従業員のモチベーションを向上させる効果があることを踏まえて導入するか否かを検討すべきである。